

川村短大 ○前島 雅子  
お茶の水女大家政 矢部 章彦

1. サポニン(A社, B社, C社製)を配合したABS洗剤とノニルフェノールエーテル型非イオン洗剤の洗浄力と起泡力を測定し, 相互の関係を検討した。また両洗剤へのオレイン酸, 流動パラフィン添加の影響も併せて調べた。

2. 洗浄は綿, ポリエステルの標準汚染布を用い, 島津ラウンダーテスターで40°C 30分間の試験をおこなった。起泡力はRoss & Miles法により40°Cの泡高を測定した。

3. サポニン溶液の洗浄効果はいずれもABS洗剤および非イオン系洗剤より低い。蒸留水洗浄よりは高く, 濃度と共に向上する。サポニン配合洗剤はABS洗剤および非イオン系洗剤ともサポニン濃度増にしたがい低下する。オレイン酸(0.008%, 0.02%)添加では両洗剤とも40°C洗浄で若干の洗浄力向上がみられたが, 流パラ配合の場合は洗浄力が低下した。

起泡力はA社サポニンは1.0%濃度で2.1cm, B社サポニンは0.1%で14.2cm, C社サポニンは0.1%で10.1cmとなり種類別の差が大きい。非イオン系洗剤の起泡力はA社サポニン配合により低下するが, オレイン酸添加により著しく向上する。非イオン系洗剤流パラ添加では起泡力の低下がみられた。